

支倉常長フェロー報告書

提出日 2012年 11月 5日



申請者	氏名	伊関 雅裕
	所属・職	消化器外科分野・大学院生
出張期間	2012年10月29日 ~ 11月3日	
渡航先	マイアミ (アメリカ・フロリダ州)	
渡航目的	学会参加・共同研究のための留学・()	
発表演題名あるいは共同研究課題名	Giant solid pseudopapillary neoplasm of the pancreas in a middle-aged man: a case report	

得られた成果など

平成24年度10月31日から11月3日までマイアミで開催されました American Pancreatic Association と international association of pancreatology が合同で主催した 2012 annual meeting に参加し、ポスター発表いたしました。APA annual meeting は世界中の膵臓専門家（内科医, 外科医, 病理医, 放射線科医など）が一同に会し最新の臨床研究・基礎研究に関して討論する会であります。今回は IAP との合同開催ということもあり、演題数は350にも及び大盛況でありました。

私は、中年男性に発症した巨大な solid pseudopapillary neoplasm (以下, SPN) の症例報告をいたしました。術前診断に重要な画像診断は何かという質問があり、CT/MRIなどを組み合わせて総合的に診断することが重要であるとの考えを伝えました。



質問者はCTでの境界明瞭で辺縁が円滑であるという形態が重要であるとの答えであり、お互いの意見交換の後、臨床像とさまざまな画像診断で包括的に診断することが重要であるとの結論になりました。

他のポスターで皮膚 melanoma の膵転移の症例報告があったのですが、派生した内容でさまざまな転移性膵癌の中で腎癌からの転移が比較的多く、外科的切除で良好な予後が得られるという情報を得ました。聴講した講演では imaging techniques in pancreatic disease が興味深かったです。紹介された perfusion CT, EUS elastography, pancreatoscopy はいずれも馴染みがなく、新しい情報を得ることが出来ました。

APA に参加し、貴重な経験・情報を得ることが出来ました。今後も国際学会に積極的に参加し情報収集し、自分の研究に役立てたいと思います。貴重な機会をいただきましたことを心より感謝申し上げます。